



Interview 運営者に聴く

登米北上こども園
高橋 春美 園長

登米北上こども園は、公立と私立の保育所を統合して新たに開園しました。統合直後は、不安そうにしている子もいましたが、今はすっかり慣れて、元気にあいさつしてくれるようになりました。みんな仲良く遊び、毎日伸び伸びと過ごしています。

私たちの方針は、子ども一人一人を大切に、生き生きとした明るい子どもに育てること。子どもと地域のつながりも大切にしたいので、今年から地域の運動会に参加する予定です。よく遊び、よく考えて行動できる元気な子どもに育てていきたいと考えています。



1 さくら幼稚園入園式 2 佐沼明星こども園入園式 3 米谷こども園入園式 4 登米北上こども園入園式 5 佐沼明星こども園開園式



子育ての新しい時代へ

市内認定こども園が5園に

市内の認定こども園は、新たに4園が開園し合計で5園になりました。親が一番に願うのは、子どもが元気で健やかに成長すること。市では、官民一体となって、子育て環境の充実を目指します。



Interview

保護者に聴く

鈴木義隆さん(左)、里佳さん(右)、陽太君(中)
(米山町千貫)

開園時間や場所などの利便性がよく、友達とも一緒に入園できたのでうれしく思います。早く集団生活に慣れてほしいですね。子どもの成長する姿を見るのが、一番の楽しみです。

鈴木健太さん(右)、真美さん(左)、漣斗君(中)
(登米町辺室山)

慣れ親しんだ北上保育園が閉園して、名残惜しさもあります。新しい場所で不安もありますが、先生に頼るところが大きいです。子どもには、病気やけがなく元気に通園してほしいと思います。



登米北上こども園

新しい子育てのかたち
本年4月から新たに「佐沼明星こども園」「白鳥ゆめっ子園」「登米北上こども園」「米谷こども園」の幼保連携型認定こども園が開園しました。すでに「さくら幼稚園」が幼稚園型で昨年4月に開園しており、市内では5園となりました。県内では仙台市に次いで2番目の規模となります。
時代のニーズに対応
認定こども園整備の背景には、「短時間の幼児教育」よりも「長時間の保育」のニーズが高まったことがあります。このような流れから、市立幼稚園は定員割れが続き、市立保育所では定員を超える入所希望がありました。
この問題を解決するため、教育と保育両方の機能を持つ認定こども園の整備を進めてきました。認定こども園は、0から5歳児までを対象とした4時間と11時間までの利用に対応。保護者の仕事や家庭環境に応じた子育て支援サービスを提供します。
幼保連携型の認定こども園の特徴は、保育が必要な子どもが0歳から入園可能。3歳からは、午前中に幼稚園の力

市内認定こども園

<p>米谷こども園</p>  <p>東和町米谷字石橋 26-1 ☎0220-42-2101</p>	<p>登米北上こども園</p>  <p>登米町寺池目子待井 393 ☎0220-52-3558</p>	<p>白鳥ゆめっ子園</p>  <p>迫町北方 字三方島西 22-2 ☎0220-22-1108</p>	<p>佐沼明星こども園</p>  <p>迫町佐沼上舟丁 12 ☎0220-22-2737</p>	<p>さくら幼稚園</p>  <p>中田町宝江 黒沼字新西野 1-1 ☎0220-34-6694</p>
---	---	--	---	--

子育て支援の拠点に
認定こども園は、保育所や幼稚園の機能だけではありません。地域での子育てを支援する役割があります。それは、誰もが利用できる「地域の子育て支援の拠点」になること。
市では、将来的に市内全ての子どもに質の高い教育と保育を提供できるように、官民一体となって子育て環境の充実を目指します。